

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.06.06~06.17

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

6月6日(月)

■38兆円市場に熱い視線
日中グリーンエクスボ
環境見本市「日中グリーンエクスボ」が、北京市内で初開催。日本から約60社が参加。中国では今後5年間に省エネ・環境保護分野に約38兆円が投資される。日本企業が熱い視線を送る。（12面）

中国関係者にトップセールス（中央が佐々木東芝社長）



■ANA、中国の客を取り込み
特別運賃を設定

ANAは、大震災以降、旅客が大幅に落ち込んだ訪日外国人の誘客を強化。特に需要の大きい中国に狙いを定め、中国から日本への片道の特別運賃を設けるなど、訪日客の回復を図る。（13面）

6月7日(火)

■太陽電池の出前授業を拡充
京セラ/100校2万人
京セラは、中国で小学校などで開く太



環境出前授業（京セラグループ）

陽電池を用いた体験学習「京セラグループ環境出前授業」を拡充する。2011年度は現地の講師を10人に増員し、100校の2万人に実施する計画。（4面）

6月8日(水)

■日本精工、内陸部に新工場
軸受/車・家電・工作機械向け

日本精工は、中国内陸部の安徽省合肥市に玉軸受の工場を建設し、2012年8月に稼働。投資額は約120億円。中国内陸部に工場を置く自動車、家電、工作機械、鉄鋼産業に軸受を供給。（6面）

■中・印にインバーター溶接機
パナソニック溶接システム

パナソニック溶接システムは、新興国市場向け戦略機種として低価格のインバーター溶接機を開発、7月に中国、インドに投入する。省エネルギー性を訴求し、新興国で置き換えを狙う。（7面）

■「スカルプD」中国本格参入
アンファア/ネット通販

アンファアは、主力商品の薬用シャンプー「スカルプD」で中国市場に本格的に参入する。2012年1月から中国のインターネット通販サイトで販売。3年間で100億円の売り上げを目指す。（14面）

6月9日(木)

■人民元預金が全資産の15%
日本人顧客/香港上海銀行

香港上海銀行東京支店が人民元預金を持つ250人の日本人顧客にネット調査。人民元預金の残高が全金融資産に占める割合が平均15%。「比較的高い割合」（同行）と見ている。（17面）

6月10日(金)

■中国からアジアに広げる
国際ビジネスの注力地域

国際ビジネスの注力地域は中国一極集中からアジア全域へ広げる日本企業が多い。みずほ総合研究所がアンケート。中国がトップを維持したが、2010年2月調査の51%から48%と下落。（2面）

■上海にメッキ支援施設
ワイピーシステム/中小進出後押し

ワイピーシステムは、上海市にメッキ産業の支援施設を設立する。メッキ薬品会社を傘下に持つ上海金都投資集団と組

トルコは欧州への輸出基地として発展が続く（6月10日付3面＝ブルームバーグ）



み7月に開設する。中小メッキ会社の中国進出を後押しする。（4面）

6月14日(火)

■日本の地名、使われないで
中国で商標登録調査/特許庁

特許庁は、日本の地名や地域ブランドが中国で勝手に商標登録や出願されていないかを無料で調査する事業を始める。ジェトロ北京事務所が受け付ける。「京都」などが権利化されている。（2面）

■上海の生産能力4倍
NSKワーナー/ATクラッチ

NSKワーナーは、2012年までに上海での自動変速機（AT）の動力伝達部分に使うクラッチの生産能力を4倍にする。上海工場で新棟の建設を開始した。生産高ベースで100億円規模。（8面）

■組み込みシステム、中国で開発
プロアシスト/江蘇省に完全子会社

プロアシストは、江蘇省に100%出資子会社を設立した。現地に進出する日系企業の組み込みシステムや制御機器、生産管理システムなどの受託開発に本格的に乗り出す。（23面）

6月15日(水)

■産革機構、中小の中国事業支援
車部品共同会社/15億円投資

産革革新機構は、中小自動車部品加工

メーカー12社が江蘇省常州市に共同出資で設立した衆智達車部品に15億円を投資する。共同出資会社は異なる金属加工技術などを結集した。（3面）

■中国のエコシティー委と提携
野村総研

野村総合研究所は、河北省唐山市曹妃甸のエコシティー管理委員会と戦略的な提携関係を結んだ。環境配慮型の都市開発やインフラ整備で協力する。日本企業と委員会とのマッチングも。（3面）

■金融機関の窓口支援装置開拓
OKI/現金処理機など

OKIは、中国の金融機関向け窓口業務支援装置の販売に乗り出す。急成長していたATMの成長率が鈍化する一方、現金処理機など窓口業務の支援機器は普及していないのが現状。（8面）

■巴川製紙、年3500トン体制
トナー増産/複写機・プリンター用

巴川製紙所は、複写機・プリンター用トナーの生産を増強する。江西省の新工場建設に加え広東省の工場でも同トナーの生産を増強する。生産能力は、年1000トンから同3500トン以上に拡大。（11面）

6月16日(木)

■日立、インド社に出資
インバーター/大規模工場向け

日立製作所は、インドのハイレレエ

クトロニクスへの資本参加について協議を始めた。発電所や製鉄所など大規模工場の建設が見込まれるインドでは、インバーターの需要拡大を予測。（3面）

■王子製紙、マレーシア社買収
段ボールシェア30%に

王子製紙は、マレーシアの段ボールメーカー「HPIリソーシズ」にTOBを実施する。100%取得時には約69億5300万円。段ボール販売シェア16%を30%に。東南アジアで事業拡大。（3面）

■日本アジア投資、中国増員
東南ア視野にM&A開拓

日本アジア投資は、中国やASEAN各国で、日本企業とのM&Aにつながる投資案件の発掘を加速させる。中国各地の投資関連職員を増員する。ASEANでの投資拡大も視野。（15面）

6月17日(金)

■東海ゴム、中国に開発拠点
浙江省/現地化で取引拡大

東海ゴム工業は、浙江省に自動車用ゴム・樹脂部品の開発拠点を設置する。2012年5月に稼働予定。現在は中国資本の自動車メーカーとの取引はないが、開発の現地化で取引を狙う。（5面）

■「MRJ」アジアで初受注
三菱航空機/香港リース会社

三菱航空機は、香港の航空機リース・整備会社のANIGループホールディングスから90席クラスのリージョナルジェット機「MRJ90」5機を受注した。日本以外のアジアでの受注は初。（6面）

■日系の香港上場を支援
NYメロン銀行

米バンク・オブ・ニューヨーク・メロンは、日本企業の香港証券取引所における預託証券による上場を強化する。中国で事業展開し香港市場で上場を目指す企業が増えている。（17面）

TELOP

■中国の社員、エネ管理者に認定
富士ゼロックス（7日19面）

■建機用巻きばね、中国で生産
三菱製鋼（8日11面）

■中国向け輸出価格協議難航
ロシア・ガスパロム（8日13面）

■GMO証券、香港に参入
FXで子会社/月内（9日17面）

■台湾・中国鋼鉄から受注
IHII/自動車用（10日9面）

■LED照明、5倍超へ
パナソニック（10日11面）

■京セラ、ネット通販
セラミックキッチン用品（10日15面）

■中国で共同利用
日本バレットレンタル（10日15面）

■トヨシマ、中国工場を稼働
フォークリフトアーム（10日25面）

■伊藤忠、中国でトレーラー製販
日本フルハーブと（14日15面）

■テルモ、中国に持ち株会社
販売、13拠点体制（14日15面）

■日立、脱硝触媒で新会社
シェア30%を目指す（15日6面）

■携帯端末で中国に進出
富士通（17日9面）

■伯東、大連支店を開設
日系メーカー向け（17日9面）

■清華大生が就業体験
武田薬品（17日15面）

●ひと……………

チームにも光

千葉ロッテマリーンズの室内練習場にサンテックパワーの太陽光発電の導入が決まった。「始まりは、ご近所さん」と社長の山本豊さん。ロッテが提携する江蘇ホープスターズと同じ無錫にグローバル本社がある。来年からロッテのスポンサーに。「太陽光とともに、バックアップ」とチームにも光。（8日＝13面）

……………

現地のことは現地に

「現地のことは現地に任せる」と海外展開の極意を語るのはSBIホールディングス社長の北尾吉孝さん。前提として「現地の各スタッフの中にSBIの経営理念が浸透していることが重要」。中国の大学で講演も。「学生が積極的に質問する姿が目立つ」。若者の熱意が海外との関わりに拍車をかける。（8日＝19面）

ASIA

6月6日(月)

■ヨロズ、インドでホンダに部品
足回り/現地大手に生産委託

ヨロズは、インドで初めてホンダ向けに自動車部品の供給を始める。2013年の新モデル向けにサスペンションなどの足回り部品を供給する見通し。現地部品大手のJBMに生産委託。（6面）

■新明和、インド再参入
特装車/3年内に現地生産

新明和工業は、インドで2〜3年内に特装車の現地生産を再開する方針を固めた。3月に現地企業との合併を解消し、同国での生産拠点を失った。インドの特装車市場への再参入を目指す。（7面）

■インドネシアに飲料充填会社
ホッカンHDなど/年500万箱

ホッカンホールディングスは豊田通商と共同で、飲料充填を請け負う新会社をインドネシアに設立する。新会社は9月に設立し、2012年5月稼働。製造能力は年間500万箱（24本入り）。（10面）

■東京製鋼、ソーワイヤー増産
マレーシア/太陽光用ウエハー向け

東京製鋼は、マレーシアで、シリコンインゴットをスライスしたウエハーを作る際に使う鋼線（ソーワイヤー）を増産する。生産能力を約3倍に。太陽光発電用ウエハー向け拡大。（10面）

■ベトナム進出953社
54社増/現地商工会、今年2月

日系企業のベトナム進出ラッシュが続いている。現地の日本商工会によると、2011年2月時点で進出企業は953社と、前年4月に比べ54社増。食品や繊維、インフラ関連企業を中心に進出。（18面）

6月7日(火)

■協和工業、タイに移管
月10万個/ステアリング部品後工程

協和工業は、2013年をめぐに米国向けステアリング部品生産の後工程を日本からタイに移管する。ホンダなどのモデルチェンジに合わせ、順次タイ生産に切り替える。12年初には月10万個に。（5面）

■歯車機械、インドで生産
三菱重工/2輪・4輪向け伸び

三菱重工は、歯車機械のインド生産を検討する。現地の自動車・2輪車向け設備投資の伸びに対応し、価格、納期の競争力を向上。海外受注のインド比率を17%から2014年度に20%。（6面）

■オムツ用不織布、第2ライン
タイ年産2万トン追加/旭化成せんい

旭化成せんいは、タイで建設中のオムツ用不織布の工場で、2014年をめぐに第2ラインを設置する。年産2万トン以上を追加投資する。アジアは15年に年250億枚に拡大すると見られている。（18面）

■大林組、日本で遠隔管理
シンガポールのビル省エネ

大林組は、シンガポールでのビル省エネルギー実証（9月）で、遠隔からデータを監視するシステムを採用する。日本側に置く監視システムと海外のビル設備をインターネットで結ぶ。（19面）

■メディカル・ヘルスで攻勢
三井物産

三井物産が、メディカル・ヘルスケア事業でアジアに攻勢をかけている。積極的な投資で次々と出資案件を獲得した。医薬品開発支援企業に加え、病院グループ企業への経営にも参画。（21面）

■ベトナム投資省と相互交流
中部経済連合会

中部経済連合会はベトナム計画投資省と「相互経済交流への協力に関する覚書」を締結。ベトナムと中部地域の企業が、相互に投資事業を展開するための協力体制を構築するのが狙い。（31面）

6月8日(水)

■日本の中小専用団地
ベトナム/ハノイ北東

ベトナム政府は、日本の中小企業専用の貸し工場をハノイ北東に建設する。デインチャム工業団地内に1万8000平方メートルの敷地に8棟建設。技術力のある日本の中小部品メーカーを呼び込む。（1面）

■ホンダのインド工場に納入
三明機工/ダイカスト自動化設備

三明機工は、ホンダのタイ現地法人からアルミニウムダイカスト部品製造向け自動化設備を受注した。インド工場に10月に納入。ロボットと11台のダイカストマシンを組み合わせた。（7面）

■東南ア開拓、多面戦略
三井住友海上/提携を積極化

三井住友海上火災保険が東南アジアで多様な保険市場に参入、本格開拓。今春にマレーシアでイスラム保険の事業会社に出資、教徒向けの保険に進出。5月はインドネシアの生保と資本提携。（19面）



インドネシアのシナールマス生命との提携調印式（5月2日）

■タイでパワコン生産
田淵電機/住宅用太陽光発電向け

田淵電機は、タイで住宅用太陽光発電システム向けパワーコンディショナーを生産する。約2億円を投じ、子会社にラインを導入。2012年3月に月産5000台体制。国内と合わせ5割増。（9面）

■旭化成せんい、アジア戦略加速
高機能繊維・不織布/営業利益を倍増

旭化成せんいは、独自性のある高機能繊維や不織布でのアジア戦略の加速を柱に2016年3月期までの5カ年計画を決めた。ほかに電池や医療分野などの育成で営業利益を約2倍に80億円に。（11面）

6月9日(木)

■ハンダ印刷の検査ヘッド開発
富士機械製造/韓国の装置大手

富士機械製造は、韓国の検査装置大手のコーヨテクノロジーと提携、プリント基板のハンダ印刷の検査ヘッドを開発。高速多機能装着機と組み合わせた検査装置と、独立型を発売する。（7面）

■東芝、マレーシア社を買収
東南アの送変電事業拡大

東芝は、マレーシアの送変電機器メーカーのトップランクを買収。社名を「東芝電力流通システムアジア社」に改め、東南アジア電力流通事業の核に。2015年までに500億円に。（8面）

■ソフトコンタクト、海外進出
シード/第1弾ベトナム

シードは、ソフトコンタクトレンズ事業で海外進出する。第1弾として、7月をめぐにベトナムへの輸出を始める。2012年3月までに中国にも輸出を開始し、東南アジア各国に順次拡大。（12面）

6月10日(金)

■トルコが1対5ルーレ
現地雇用を義務付け

1対5ルーレは、トルコ政府が、外資系企業などに8月2日から外国人社員1人につき5人のトルコ人を雇うよう通達した。基準明確化や実情に合わせた柔軟な運営を働きかけている。（3面）

■ASEANで2輪車生産補完
ヤマハ発動機

ヤマハ発動機は、2012年にASEANの5カ国に展開している工場で2輪車生産の相互補完を始める。車種によっては生産を一つの工場に集約し、地域内の各国に輸出する。（8面）

■刷版描画装置、中国で増産
大日本スクリーン/年産1000台

大日本スクリーン製造は、8月にも中国に印刷用刷版描画（CTP）装置の新工場棟を完成し、現地の年産能力を倍増の1000台以上に。印刷関連機器を2012年3月期に黒字転換の原動力に。（11面）

6月14日(火)

■ガスタービン発電設備、修理
川重/マレーシア

川崎重工業は、2012年度にもマレーシアで産業用ガスタービン発電設備のオーバーホール（分解点検修理）事業を始める。当面は定格出力7メガワットの常用ガスタービンを対象にする。（7面）

■インド工場、建設を中止
黒崎播磨/耐火物製品

黒崎播磨は、インドの耐火物製品メーカー、IFGL・リフラクトリーズと合併で進んでいた耐火物製品工場の建設計画を中止する。最大手タタ・リフラクトリーズを子会社化したため。（12面）

■小松電産、韓国で生産
シートシャッター/ソウル近郊

小松電機産業は、韓国に現地法人を設立しシートシャッターの生産を始めた。成長する韓国での供給体制を整備する。工場はソウル近郊の京畿道始興市に。年間数百台規模。（13面）

■越の工業団地、被災中小を優遇
住友商事/管理費を免除、賃料下げ

住友商事は、東日本大震災で被災した企業を対象に、海外工業団地への入居条件を優遇。中小企業向けの貸し工場を構えるベトナムの工業団地で、管理費を免除するほか、賃料を割り引く。（15面）

6月15日(水)

■搭乗橋部品、空港近くで生産
ベトナムから移管/新明和工業

新明和工業は空港ロビーと旅客機を結ぶ航空旅客搭乗橋の生産コストを抑えるため、納める空港がある現地に生産に移管する。2010年に日本からベトナムに移管集約していた。（4面）

■インドネシアに物流会社
バンテック/日産の増産対応

バンテックは、年内をめぐにインドネシアに自動車部品物流を手がける現地法人を設立する。主要取引先である日産自動車の増産計画に対応。中国、タイ、インドでも拠点を拡張。（5面）

■インドネシアに骨格部品の工場
ユニプレス/日産向け

ユニプレスは、インドネシアで車体骨格部品の新工場を建設する。2012年6月に稼働する。現地で4輪車の生産を拡大する日産自動車向けに部品を供給。年産能力は5万台規模。（5面）

■伊藤铸造鉄工、越で20%増
月300トン体制/建機・鉄道車両向け

伊藤铸造鉄工所は、ベトナムの鋳物製造工場の生産能力を増強する。2011年度内に20%増の月300トン体制に引き上げ、中国や東南アジアでの建設機械や鉄道車両向けの旺盛な需要に応える。（21面）

6月16日(木)

■OKK、ジャカルタに現法
MC需要にきめ細かく対応

OKKは、2011年内にもインドネシア・ジャカルタに現地法人を開設する。新興国の中でも経済成長が著しく、市場規模も比較的大きいため、拠点を築いてMCの需要にきめ細かく対応。（7面）

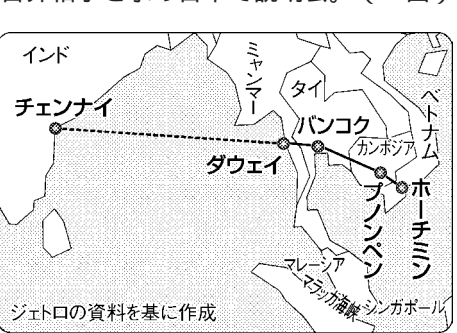
■特殊梯子製作、ベトナムに工場
ハノイ/8月稼働

特殊梯子製作所は、避難用はしごの生産でベトナムに進出する。ハノイ市に工場を建設、8月に稼働する。現在本社工場のみで生産するはしごのコスト削減と生産能力拡大を狙う。（23面）

6月17日(金)

■ダウエイ開発計画始動
タイ・ゼネコン/日本に参画を

ミャンマーのダウエイで大型インフラ開発計画が動き出した。タイのゼネコン最大手が、ダウエイに工業団地や大型貨物船用の港を整備する事業会社を設立、合弁相手を求め日本で説明会。（2面）



■日鍛バルブ、アジアで増産
2輪車用/日系向け

日鍛バルブは、今年度アジアで2輪車用を中心に小型エンジンバルブを増産。タイ、インドネシアなどで、生産量をそれぞれ15%引き上げる。主に東南アジアの日系2輪メーカー向け。（5面）

■スマートメーター、海外展開へ
三菱電機/タイ・インドネシアで検討

三菱電機は、タイとインドネシアでスマートメーターを使った事業展開の検討に入った。国内では実証を行っているが、海外で現地電力会社などと協力して早期立ち上げを目指す。（9面）

TELOP

■マレーシア美容スバ
タナメラ/日本でFC（7日3面）

■ブタジン製造設備受注
東洋エンジ/インドネシア（7日6面）

■タイでステンレス拡販
日金工/現法設置（7日18面）

●ひと……………

迷いなし

「インドは間違いなく有望な市場になっており、我々は今も走り続けている」と宣言するのは、王子製紙社長の篠田和久さん。取り扱った製品として産業用紙や機能材を候補に挙げる。「単独で進出するのは難しい。M&Aになるだろう。」「リスクを覚悟し、開発投資と考えて思い切っていく」と迷いなし。（14日＝12面）